

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード：t d s 2 0 2 5 1 2 1 1 k 1

企業間・産学連携の共同研究／開発における、利益最大化とリスク最小化を実現する契約実務とトラブル解決策を、他では聴けない失敗事例および成功事例を交えて解説。さらに、産学連携における新たな争点や最新動向も紹介。

事例増強 共同研究／開発のトラブル防止策＆解決策 ～不実施補償や発明の帰属、技術流出などに対処した契約書の書き方～

講師：よろず知財戦略コンサルティング 代表、医学博士 萬 秀憲 氏

花王（株）にて商品開発研究に従事（入浴剤バブ等を開発）、東京研究所室長、栃木研究所室長を務める。

1999 年 大王製紙（株）入社、家庭紙開発部長、2005 年より H&PC 事業部知的財産部長、執行役員、参与を歴任し 2020 年 1 月に退職。大王製（株）に入社当初は年間 35 件の特許出願数だったのを、様々な施策を行い、入社 1 年目には 52 件、2 年目には 116 件、3 年目には 186 件、4 年目には 282 件、5 年目には 335 件まで大幅に増やし、特許登録件数も年間 300 件以上となった活動を主導した実績がある。2020 年 4 月より現職にて、延べ十数社への知財戦略等のコンサルティング業務やセミナー講師など多岐に活躍。2021 年より知財 AI 活用研究会へ参加し、汎用 AI（第 3 世代 AI & 第 4 世代 AI）の知財業務への活用を研究。

●日程 2025 年 12 月 11 日（木） 14：00 ～17：00

●受講料 24,200 円（税込） ※10/11（土）までにお申込の場合、19,360 円（2 割引）となります

I. はじめに

1. 近年、共同研究契約の重要性が増している
2. 産学連携体制モデルの変化 ～組織 vs 組織へ～
3. 共同研究／開発は成功の確率が低いプロジェクト
4. 共同研究／開発の構図

II. 民間企業間、大学・企業間の共同研究／開発契約における チェックポイントとトラブル未然防止策の基礎

1. 共同研究／開発の着手前に十分検討しておくべきこと
2. 共同研究／開発契約書の一般的構成と留意点及びその実例
3. トラブル事例紹介
 - (1) 契約書がなかったため自社技術流出してしまった例
 - (2) 安易に特許を共有化してしまい第三者への実施許諾に横槍が入った例
 - (3) ノウハウを特定せず提供してしまったため特許の持分が不利になった例
 - (4) 相手方他部門でノウハウが利用されてしまった例
 - (5) サンプルが流出してノウハウまで解析されてしまった例
 - (6) 相手先の技術者が退職しライバル会社に転職してしまった例
 - (7) 相手の分まで費用を負担せざるを得なくなった例
 - (8) 自社の独自技術開発にもかかわらず共同研究開発関連の共有になった例
 - (9) 研究成果を相手先に勝手に特許出願されてしまった例
 - (10) 顧客から特許保証を要求された例
 - (11) 顧客から特許リストを要求された例
 - (12) 顧客から代替品購入を要求された例
 - (13) 顧客の秘密は厳守するが自社の秘密は守られないという秘密保持契約の例
 - (14) ほとんど自社で研究するのに成果は取引先だけに無償で帰属の例
 - (15) 特許権の 1/2 を無償譲渡させられた例
 - (16) 一方的に無償ライセンスさせられた例
 - (17) 成果物の定義、ノウハウの定義で揉めた例
 - (18) ライセンスした特許から派生した改良発明の実施で揉めた例
 - (19) 工場見学をさせる上での注意点
4. 大学の契約書雛形の多様化の現状
5. 大学・企業間の契約交渉が難航する課題に関する事例紹介
6. 民間企業間の共同研究・開発での注意事項
 - (1) 競合する企業同士の連携の場合
 - (2) 連携する企業間の場合（材料等中間製品メーカーと最終製品メーカー）
 - (3) 得意技術の相互利用を目的とする連携の場合

III. 大学・企業間、民間企業間の共同開発契約における トラブルと解決策に関する事例研究

1. 大学・企業間の共同開発に関する事例研究 A
 - (1) 大学教員と企業開発研究者の出会い
 - (2) 秘密保持契約書の締結
 - (3) 共同開発テーマの創出
 - (4) 難航した共同研究契約（半年間のストップ）
 - (5) 問題先送りの共同研究契約書の締結
 - (6) 特許出願のネタ誕生
 - (7) 特許共同出願契約書の締結
 - (8) 難航する商品化
 - (9) 共同開発商品の上市
2. 大学・企業間の共同開発に関する事例研究 B
 - (1) 大学教員と企業開発研究者の出会い
 - (2) 学術指導契約書の締結
 - (3) 共同研究契約書の締結
 - (4) 特許共同出願契約書の締結
 - (5) 共同開発商品の上市
3. 民間企業間の共同開発に関する事例研究 A
 - (1) A 社が B 社に開発テーマを提示
 - (2) B 社が A 社にアイデアを提示
 - (3) A 社が共同開発契約書案を提示
 - (4) B 社が修正案を提示
 - (5) 協議の末、共同開発契約書を締結
 - (6) 共同開発難航
 - (7) B 社単独特許出願が公開
 - (8) A 社が B 社に抗議
 - (9) 協議のうえ、トラブル解消
4. 民間企業間の共同開発に関する事例研究 B
 - (1) 順調に共同開発契約書締結
 - (2) 共同開発は順調に成果を得、共同で特許出願
 - (3) 商品化は難航
 - (4) トラブル発生
 - (5) 延々と続く協議
 - (6) やっとトラブル解消

<講義概要>

オープンイノベーションを志向した共同研究／開発を成功させるためには、共同開発を実施する前に関係者を含めてお互いの立場の違いを十分認識しておくことが必須です。また、契約実務においては、お互いの立場の違いを十分認識したうえで、当事者各々が利益の最大化、リスクの最小化を達成するように工夫し、バランスをどうとるかがポイントです。

本講座では、民間企業間、大学・企業間の共同研究／開発契約におけるチェックポイントとトラブル未然防止策の基礎を学習したうえで、大学・企業間の共同開発に関する事例研究、民間企業間の共同開発に関する事例研究を通じて、実践的な解決策（バランスのとり方やリスク回避法など）を学びます。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/12/11 事例増強 共同研究/開発のトラブル防止策&解決策		
会社名※			
所在地※ （請求書等の送付先）	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		